

## ①どのようなお子さんを対象にするの？

- ・ことばが遅い
- ・発音がはっきりしない
- ・どもってしまう（吃音がある）
- ・おともだちとのやりとりが苦手
- ・上手に食べることができない

## ②言語聴覚士はどんなところをみているのか？

- ・ことばの理解や表現する力
- ・発音
- ・吃音（どもり）
- ・やりとりする力
- ・食べること

検査の時には課題や遊んでいる時の様子、保護者の方からの聞き取りによって、お子さんの得意なこと、苦手なことについての評価を行います。

### ③言語聴覚士のセラピーとは？

検査の結果をもとに、お子さんのことばの発達や興味・関心に合わせてプログラムを考えさせていただきます。お子さんが楽しんで取り組めるような遊びや課題の中で、ことばやコミュニケーションの発達を伸ばすことを目標にセラピーを行います。また、遊びや日常場面での関わり方の工夫をお伝えしたりもします。食べることが苦手なお子さんに対してもアドバイスをさせていただきます。

例えば、このようなことをセラピーで行います

- ・ ことばの課題（なぞなぞ、しりとりなど）
- ・ 発音や吃音（どもること）、食べることの指導
- ・ 歌や手遊び（リズム遊び）
- ・ 口を使う遊び（シャボン玉など）
- ・ 体を動かす遊び（すべりだい、ボール遊びなど）

日常生活での困り感、心配事などに対しても支援を行っていきたいと考えています。お気軽にご相談ください。

こころと発達クリニック えるむの木  
院長 須見 言語聴覚士 布施

